

2017鹿児島県
高校選手権

素早い寄せで3得点 2年ぶり優勝



▲ 1点目 前半13分、速水からパスを受け、先制点を決めた古賀⑧。



◀ そのわずか3分後、木川のクロスに頭を合わせた川満が、貴重な2点目を決める。



▲ 後半7分、八田からのクロスを福留が冷静に決め、3点目を上げる。

優勝おめでとう！



鳳凰が2年ぶり栄冠

【サッカ―】県高校女子選手権 サッカーの鹿児島県高校女子選手権最終日は24日、南さつま市の楠志田サッカー場で決勝があり、鳳凰が3-1で神村学園を下して2年ぶり2度目の優勝を果たした。両校は全国大会へ

堅守速攻で快勝
〇：鳳凰は堅守速攻を展開し、雨で足場が悪い中、ユニット6本で3得点と高い決定力を発揮した。嶋田正昭監督は「先制点で流れを呼び込んだと振り返った。立ち上がり10分間、失点しないよう守りを徹底した。しっかりと耐えて13分、負傷中のGK泰幸に代わって古賀が最初の好機をつけた。DF速水の縦パスに抜け出し先制ゴール。味方を信じて走り込んだと笑顔を見せた。ボール保持率では下回ったが、中盤でこの流れを自衛を取り戻した」

神村学園・池田千穂主将
「自分たちの持ち味である走り勝つサッカーができた。決められなかったが、力不足を感じた。全国大会の出場権が奪われる九州大会に向けてしっかりと練習し、自信を取り戻したい」

持味発揮できず
神村学園・池田千穂主将
「自分たちの持ち味である走り勝つサッカーができた。決められなかったが、力不足を感じた。全国大会の出場権が奪われる九州大会に向けてしっかりと練習し、自信を取り戻したい」

の出場権を争う九州大会（10月・宮崎）に出場する。鳳凰は前半、2点を先制。後半もMF福留が追加点を奪い、神村の猛攻を1点で抑え逃げ切った。

△決勝 鳳凰3-1神村

【決勝 鳳凰-神村学園】後半、シュートを放つ鳳凰の古賀（左）＝楠志田サッカー場

▲ 2年前はこの大会で全国まで進出し、ベスト8の結果を残した。その時1年生だった現3年生が、最期の大会でどこまで成長を示せるか。真価が問われる季節が来た…
南日本新聞 9月25日（月）

